

7月5日（金）、6年1組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は、「てんか
いを工夫して物語を書こう」です。街の写真を見て想像を広げ、考えた登場人物や場面設
定を基に、荒筋を考え、物語を構成することが目標です。

始めに、物語の構成である「起承転結」について確認をし
ました。教師が、ベストセラーの「起承転結」の傾向（「起：困難
に遭遇する」「承：さらに悪化」「転：最悪の事態に」「結：乗り
越える」）を示し、イメージしやすくしました。そして、児童は、
自分が考えた物語の荒筋の「起承転結」の部分に記号を付けま
した。記号は、「起」に当たる部分には○を、「承」に当たる部
分には◎を、「転」に当たる部分には☆を、「結」に当たる部
分には♡（物語の最後をハッピーエンドにするため）を付けまし
た。このようにすることで、自分の物語が「起承転結」の構成
になっているかを確認させることができました。



【物語の構成を確認する様子】



【荒筋に記号を付ける児童】

次に、グループになり、荒筋を発表し合いました。ここでは、
物語の種類や登場人物、場面の設定、「起承転結」の構成につい
て確認をしました。種類は、「楽しい話」「ほのぼのした話」「ス
リリングな話」など、様々なものがありますが、考えた物語の
種類が読む人に正しく伝わっていないといけません（「スリリ
ングな話」にしたいのに、「面白い話」として伝わってしまうこ
とも）。児童は、「これは、『面白い話』かな」「こうするともっ
と面白くなるよ」などと、アドバイスすることができました。



【グループで話し合う児童】

グループになる理由は、他にもあります。それは、物語の展
開に悩んでいる友達や、物語の筋道がずれてしまう友達がいるときに、一緒に考えるこ
とができることです。協働的に学習をすることで、よりよい物語を考えることができます。

その後、自分で書いた荒筋と友達からのアドバイスを基に、
文章を構成メモに書き込みました。多くの児童がすらすらと書
くことができていました。つまずいている児童も、とりあえず
荒筋に付けた記号を基に構成メモに書き写しました。このワー
クシートを使えば、このあとの学習で、構成メモの文章に肉付
けさせることで、物語を詳しくすることができます。どの児童
も安心して学習に取り組むことができる工夫です。



【構成メモを書く児童】

児童は、物語を考えることを楽しんでいる様子でした。しかし、一人で書き進めている
だけでは、読み手に伝えたいことや感じてほしいことが正しく伝わらない場合があります。
今回の授業のように、友達と登場人物の背景や構成を読み返す時間を設けることで、伝え
たいことが、正しく、そしてより強く伝わるようになると分かりました。今後も、たくさ
んの友達と協働的に学習を進められるように工夫をしていきたいです。